

学校だより(ねあがい)

平成31年3月8日発行

校長 石田 恵一

平成30年度を振り返って

根上中学校に赴任して2年目が終わろうとしています。校長として、全職員が心を合わせて教育活動に全力で取り組める学校づくりを目指したいと思っています。いつもお話しさせていただいているが、登校時や休み時間などには子ども達の笑顔が広がって、授業が始まれば別人のように集中して授業に参加する。日々の清掃活動や係活動だけでなく、運動会や文化祭、合唱コンクールなどの学校行事にも心を合わせて全力で取り組む。一人一人の子ども達がキラキラ輝いている。全職員で心を合わせて、そんな学校をつくりたいと考えています。

3年生が残してくれたもの

9日（土）に卒業式が挙行されます。今年の3年生も大きな軌跡を残してくれました。特に、運動会・合唱コンクール・文化祭などの学校行事の取組や部活動での真剣な姿は、今も深く心に残っています。3年生が、学校生活に全力で取り組み大きな成果をあげる。その姿にあこがれ、下級生が、新3年生を中心に先輩達を超えるとさらにがんばる。今年は、学校行事や部活動にがんばるだけでなく、毎月の全校集会の空気が変わり、日々の授業の空気も変わりました。清掃時には一生懸命に床と心を磨く子ども達の姿が見られます。3年生は、これまでの良き伝統・良き校風をさらに高めてくれたと感じています。「あんな3年生になりたい！」という声を今年も何度も耳にしました。1年生と2年生の作文を紹介します。

「今まで一番の運動会」

私は今年の運動会は今まで一番楽しくて、一生懸命できた運動会でした。小学生のころは、ほとんどを先生に指示してもらい、自分たちでやるのは少しだけという感じでした。ですが中学生の運動会は、先生には頼らざるほどのことを自分たちでするので、一人でもやっていなかつたら成功はしないと思いました。みんなが一生懸命やりとげたときの達成感は、とてもすごいものだと感じました。そして、女子は男子を応援したりして、赤団は盛り上がってテンションを上げることで、運動会をものすごく楽しめたと思います。

私が一番思い出に残った競技は、応援合戦です。赤団は2年生がないので声を出して、人数が少ないならではのことをして優勝を狙いました。人数が少ないので、もちろん声をたくさん出さなければいけないですが、何回も发声練習をして、声を出せるように頑張りました。応援団長など3年生が分からない所を分かりやすく教えてくれて、



【裏面に続く】

完ぺキにできるようになりました。またポンポンを使ってREDを作り、一致団結しないと作れない難しいことにも挑戦したことで、最優秀賞を取ることができて本当に嬉しかったし、三年生にとても喜んでもらってもっと嬉しくなりました。

3年生に喜んでもらえて、やってよかったと思いました。私たちが優勝して、3年生が喜んでいなかったら、全然楽しくなかったと思います。3年生に感謝してもらったけど、私はその何倍もの感謝をしたいです。運動会当日の昼休みも、教室に来てくれたりして、たくさんお世話になって、とても尊敬しています。私も3年生のみなさんのような3年生になりたいです。そして、中学3年間を優勝して、3年生のような最後の運動会にしたいです。そのために、来年も声を出したり、一生懸命頑張りたいです。今年は本当に最高の運動会だったと思います。

「文化祭で学んだこと」

私はこの2日間の文化祭で3年生の力を尽くして頑張る姿を見たり、クラスの仲間と協力したりして、たくさんの事を学びました。

まず一日目は3年生の演劇でした。「ツンダの星」という演劇でしたが、これは3年生が話の内容から全て自分たちで考えたと聞き驚きました。演技も上手で今までこの日のために一生懸命練習してきたんだなと感じました。また、物語の世界に入り込んだ気分になりました。キャストの人以外にも衣装や背景、道具、照明の人たちが一丸となって練習や活動に取り組んできたことがものすごく伝わる演劇でした。

二日目は合唱コンクールでした。私達は、「努魂情～一つの歌に命を懸けろ～」という合唱目標に向かって最優秀賞を目指し、クラス全員が一生懸命練習してきました。私は課題曲の指揮者でした。家でインターネットの動画を見ながら、繰り返し練習してきました。指揮者がしっかりとやらないと全員、ずれてしまうので責任を持ってやりました。そして当日、笑顔で速くならないよう意意識して全力でやりました。自由曲も今までの練習の成果が出せるように歌いました。そして、一組は最優秀賞を見事とることができました。結果発表で一組と呼ばれたときのうれしさは忘れられません。3年生の合唱もすごかったです。見ていて、私も来年、今の3年生みたいな合唱をしたいと思いました。そして、来年も最優秀賞をとりたいです。

この二日間で3年生の姿を見て学んだり、練習の成果を發揮し、喜びと達成感を味わうことができました。合唱コンクールで得たクラスの力をまた、日々の学校生活に活かしていきたいです。

3. 3・11を風化させない

今年も、3. 11に触れます。まもなく東日本大震災から8年目の3月11日を迎えます。この未曾有の大災害は、災害に対する認識や被災地に対する支援の在り方等だけでなく、改めて、私たち一人一人に、生きること、生かされていることの意味を問いかすことになりました。家族や仲間がいること、学校へ行けること、仕事ができることなどは決して当たり前ではない・・・。

「3・11を忘れてはいけない」、心からそう思います。